

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

ハカルワカル広場 上映会 開催

第19回

原発の町を 追われて

～避難民・双葉町の記録～

と き：10月6日（土）10時～

ところ：ハカルワカル広場

参加費：500円

これは過去のこと？

それとも明日のわたしたち？

2011年3月11日 福島原発事故が起こり、全世帯が避難勧告を受けた双葉町。事故から二週間後、町は役場機能を埼玉県加須市に移し、廃校になった高校（旧騎西高校）を拠点に避難生活を始めた。日本初の原発避難民。

放射能から逃げるしかなかった人々。

「俺たちはどうせ忘れられていくのさ」という避難民のつぶやき……。

国、東電からほったらかしにされた避難民は、賠償をめぐりお互い同士、本音をぶつけ合う。

福島へ町役場機能を戻せという人も現れる。

井戸川町長のリコールも……

分断が起きていく……。

第1部「原発の町を追われて」

第2部「2年目の双葉町」

第3部「ある牛飼いの記録」

堀切さとみ監督作品



第1部、第2部では、2年間にわたる町民たちの避難生活を記録。

さらに第3部では、埼玉県で新たに農業を始めた元牛飼いの女性の3年間を伝えます。

『双葉町・ある牛飼いの記録』

『原発の町を追われて』のパート3ができました！

埼玉県にある旧騎西高校に避難してきた、福島県双葉町の人々を追い続けて早6年。

三年前に騎西高校は閉鎖しましたが、双葉町は依然帰還困難区域。そればかりか中間貯蔵施設の建設が予定されていて、帰れるどころではありません。「埼玉は第二の故郷だ」といって残り続ける人、「双葉に少しでも近いところがいい」と福島に移る人、さまざまですが、ふるさとの我が家ではない場所で今までと違った生活を余儀なくされていることは同じ。

放射能による被ばくへの不安というだけが問題ではないのです。

今回の映画は、騎西高校の近くで農業を営んでいる鶴沼久江さんを中心につくりました。久江さんは福島第一原発のすぐ近くで、50頭の牛を飼っていましたが、牛たちをつれて避難することはできず、かわりに野菜作りを始めました。殺処分反対し、警戒区域の中で牛を飼い続ける「希望の牧場」の吉沢正巳など、素晴らしい牛飼いです。ほとんどの牛飼いは涙をのんで牛たちを手放さざるをえなかった。

久江さんもその一人です。

久江さんは、一作目、二作目に出てくれた鶴沼友恵さんのお母さんです。私は友恵さんに「映画を作るからには、一時の流行事で終わらせないで。私たち避難民がどうやって生活を取り戻していくのかを記録し続けて」と言われました。それで、久江さんにカメラを向け始めたのです。

双葉町のことがメディアに取り上げられることは、ほとんどなくなりましたが、避難先で必死になって生き直しをしている人たちがいることを知ってほしい。

ぜひ観に来てください。



堀切さとみ監督プロフィール

さいたま市在住。学生時代から、社会問題を広く訴えるために作られたドキュメンタリーに関心を寄せ、2008年より市民メディアセンター・mediRで映像を使った情報発信の技術を学ぶ。初作品は、上関原発建設に反対する祝島の人たちを撮った「神の舞う島」(2009年/20分)。

震災直後に、さいたまスーパーアリーナでボランティアとして双葉町の人々に関わったのをきっかけに、『原発の町を追われて』を制作。2013年、女性人権活動奨励賞「やよりジャーナリスト賞特別粋期待賞」を受賞。



ハカルワカル広場はボランティアと、維持会員の会費で運営されています。

ハ王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

お電話 問合せ ☎192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
042-686-0820

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中!

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

案内地図

● 徒歩: JR八王子駅(北口)より約20分、京王八王子駅より約23分
● バス: JR八王子駅(6番～10番乗り場のバスならどれでも)、京王八王子駅(主に1番のりば、2,3番も少し)から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向(西八王子方向)に歩いて約1分
● 車: 国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m
※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください